

2ランク上の合コン戦略

相沢蓮也

著作権に関する注意

「2ランク上の合コン戦略」（以下、本書と表記する。）の著作権は相沢蓮也にあります。

- ・ 本書のすべての内容は、日本の著作権法、及び国際条約によって保護されています。
- ・ 相沢蓮也が事前に書面をもって許可した場合を除き、本書の一部、または全部を、あらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー等）により複製、流用、転載、転売することを固く禁じます。
- ・ 著作権の侵害につきましては、著作権法第119条などの罰則がありますのでご注意ください。

第119条 次の各号のいずれかに該当する者は、5年以下の懲役若しくは500万円以下の罰金に処し、またはこれを併科する。

1. 著作者人格権、著作権、出版権、実演家人格権又は著作隣接権を侵害した者（第30条第1項（第102条第1項において準用する場合を含む。）に定める私的使用の目的をもって自ら著作物若しくは実演等の複製を行った者、第113条第3項の規定により著作者人格権、著作権、実演家人格権若しくは著作隣接権（同条第4項の規定により著作隣接権とみなされる権利を含む。第120条の2第3号において同じ。）を侵害する行為とみなされる行為を行った者、または第113条第5項の規定により著作権若しくは著作隣接権を侵害する行為とみなされる行為を行った者を除く。）
2. 営利を目的として、第30条第1項第1号に規定する自動複製機器を著作権、出版権または著作隣接権の侵害となる著作物または実演等の複製に使用させた者。

本書の使用に関する同意書

本同意書は、本書を閲覧した個人または法人（以下、甲と称す）と相沢蓮也（以下、乙を称す）との間で、本書の使用に関する一切の關係に適用します。

本書を甲が受け取り、パッケージを開封した場合には、本同意書に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。

第1条（本同意書の目的）

甲は、本同意書に基づき、乙が著作権を有する本書に含まれる情報（ノウハウ、テクニック等）を使用することができます。

第2条（知的財産侵害の禁止）

甲は、本書に関するすべての知的財産権が乙に帰属することを承諾し、その権利を侵害しないことを約します。甲は、乙の書面による事前許可が得られない場合は、以下の行為を行ってはけません。特に本書を他者に貸与、譲渡、販売、公開することを固く禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社及び関連組織（販売店、代理店等）においてのみ、本書に関する情報を使用できるものとします。

- (1) 本書の複製、転写、転載、改ざん、部分使用
- (2) 本書の内容の一部または全部に関する出版、講演、広報活動
- (3) 本書の内容に関して取材を受ける行為
- (4) 本書の内容に関して不特定多数人に告知する行為
- (5) その他、前各号に該当するおそれのある行為、またはこれに類する行為

第3条（損害賠償）

甲が本同意書の第2条に違反した場合、甲は乙に対し、その違約金として、違反件数と販売価格を乗じたものの10倍の金額を払うものとします。また、甲が本同意書に反した行為、または不正、違法な行為によって乙に損害を与えた場合は、甲は乙に対し損害賠償の請求を行うことができるものとします。

第4条（責任の範囲）

乙は、甲に対し、本書の情報の使用により発生した一切の損害について責任を負わないものとし、損害賠償の義務もないものとします。

第5条（本同意書の変更）

乙は、本同意書の内容をいつでも変更、追加、削除できるものとし、文書、電子メールによるお知らせなど乙が適当と考える方法により甲に通知します。本同意書の内容の変更がなされたことの通知を甲が受け取った後に、甲が本書の使用を継続する場合は、本同意書の変更を承諾したものとみなします。

第6条（裁判管轄）

本同意書に関して訴訟の必要が生じた場合には、乙の所在地を管轄する地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

こんにちは。相沢です。

出会いさえ確保できれば、あらゆる恋愛の悩みは
全て何とかなる

誰が最初に言ったのかは分かりませんが、至言
だと思います。

出会いにさえ困らなければ、次から次へと、
魅力的な女性に挑戦できますし、まだセックス
すらしていない、関係の薄い女性に対して

「オレにはこいつしかいないっ！」

などという、その女性からすると大変にハタ迷惑
な思い込みをして、勝手に思い詰めることもありません。

いつも女性に囲まれていれば、自然と彼女達の気持ち
が読めるようにもなりますし、どんどん恋愛力は上昇
する。

芸能人やアイドル級の美人なんて、実はその辺に
いくらでも転がっていることさえ実感してしまえば、

魅力的な女性の前で、変な緊張をしなくても済む。

変な緊張をしないから、余計にモテる。

モテるから自信がつく。

自信がつくから、さらにモテる。

モテている人間特有の、プラスのスパイラル
はこうして生まれます。

では、なぜ、大半の男性はこの「出会い」と
いうやつを確保できないのでしょうか。

「出会いには困っていないよ」

と断言できる男性が少なすぎるように思います。

あなたは断言できますか？

「オレ、出会いには困らないからさ」

って。

ちなみに、これが断言できる男は現在、
めちゃくちゃモテているはずです。

最初に書いた理由から、継続的な「出会い」
を確保した男がモテないなどということは
論理的にあり得ません。

では、なぜ 99%以上の男性は日常的に

出会いを確保することができないのでしょうか。

最近やっとその答えが分かりました。

理由はごくごくシンプル。

・出会いというシステムを構築していないから

です。

女性との出会いは水くみに似ています。

女性を「水」に例えるならば、
「出会いがない」

と訴える男は、毎回、泉までわざわざ水を
汲みにでかけています。

つかれますよね。
めんどくさいですよ。

一生懸命、泉のありかを探し、一念発起、がんばって
その場所まで時間とお金をかけて行き、でも気が付いたら
らコップ一杯の水を汲むのがやっと。

水の味もいまいち。

なんだ、あんなに頑張ったのに、成果はこれっぽっちか。

そうやって、水を汲むためにいちいち頑張らなくてはならない。

よし！ やるぞっ！！
って。

そしたらやっぱり、大抵の男はめんどくさく
なって、水を汲みに行くことを止めてしまうんです。

久しぶりに会う知人に対して
「最近どう？（女性関係）」

って聞くと、ほぼ必ず

「いやあ…ここんところ、モチベーションが上がら
なくて、ついさぼっちゃって」

「もうそろそろ、出会いのための活動を再開しよう
と思ってるんだけどさ」

ってセリフが返ってきます。

聞き飽きました（笑）

が、要するに普通はこんなもんです。

女性と出会うためにいちいち一念発起して
頑張るから、めんどくささの方が勝って
しまい、結局何もしないことの方が普通

なんです。

じゃあ、日常的に「出会い」に困らない男は
そんなにマメで真面目かというと、まず
違います。

たとえば僕。

はっきり言って超めんどくさがりです。

できれば1日じゅう家でゴロゴロしたい。

うすしお味のポテトチップスをパリパリとかじりながら、
冷房のよく効いた部屋で冷たいお茶を飲み、漫画でも読んでいたい。

女性と出会うためにいちいち頑張りたくない。

出会いの方から転がって来て欲しい。

そんなわけで、僕は出会いのシステムを
作ることにしました。

さきほどの「水」の例で説明するなら、

- いちいち泉まで水を汲みに行くのではなく、
泉から自宅まで「川」を掘る。

そうすれば、寝てても自動的に、自宅まで
水が流れてきますよね。

これが「システム」を構築するという事です。

コップをもって、泉まで汲みに行くという
発想を捨て、どうすれば泉から自宅まで
川を掘ることができるのか。

こういう考え方をしてください。

では僕の場合、具体的に何をしたのか。

それをここで公開します。

泉から自宅まで川を掘り、わざわざこちらから汲みにいかなくてもジャンジャン水が流れてくる状態にする。

僕の場合、これを合コンで成し遂げました。

「なんだ、結局、合コンですか」

「合コンなんて、開けませんよ」

「そもそも、合コンを開いてくれる女性がいません」

オッケーです。

たぶん、普通にやっていたら、

- ・合コン=コップを持って泉まで水を汲みに行く。

なんですが、ここでいくつかのルールを決めます。

男友達との間にこの「鉄の掟」を敷き、遵守し合うことによって、合コンを

- ・単なる水汲み

から

- ・自宅まで川を敷く

作業へと変貌させます。

これを、普通の合コンと区別するため
ここでは

「オートマティック合コン」

と呼びますね。

- ・単なる水汲み（普通の合コン）
- ・自宅まで川を敷く（オートマティック合コン）

です。

では、普通の合コンをオートマティック合コンに変える
ための「鉄の掟」とは何か？

答え。

幹事は神様である！

です。

これを、
「幹事優先権」
と表現しています。

要するに、その合コンに行った際、一番いい女を狙う権利は幹事が持っている。

ということです。

合コンで一番オモシロくない状況ってこうじゃないでしょうか。

- ・自分が開催した合コンなのに、ただ呼ばれただけの友人がいつもいい思いをしている。

これじゃあ、そもそも合コンを開催する気すら失せますよね。

どうせアイツが持ってくんだろ…

と、

「そもそも合コンを開催する気力が失せてしまう」

オートマティック合コンにおいて、もっとも回避すべき状況です。

オートマティック合コンというのは、

いかにして、合コンを連鎖させるか

という考え方を徹底していくものです。

よって、合コンの連鎖、から外れる行動は極力削ります。

そして、その最たる思想というか、行動原理
こそが

幹事は神様である！

なんです。

- 幹事が一番おいしい思いをする。
- 幹事が「開催してよかった」と思える。
- 幹事に一番、チャンスを与える。

だから幹事は

「次もオレが合コンを開催してやろう！」

そう考えます。

ここまで、オッケーですね。

で、次。

「じゃあ相沢さん、ただ合コンに呼ばれて
参加しただけの男はメリットが無いんで
すか？」

「それじゃあ、合コンに来てくれる男が
いなくなっちゃうんじゃないですか？」

いえ。

呼ばれる側にも十分にメリットがあります。

まず第1に、
合コンに来る「可愛い女性」が2人以上いた場合。

幹事が狙っていない女性なら、狙い放題。

2番目。

- 友達が多い、性格の明るいコ
- 合コンをよく開催するコ
- その時の合コンとは別の人脈（仕事場、学生時代の仲間、サークルの仲間等）を持っているコ

がいたら、普通に仲良くなってください。

で、次の合コンにつなげるんです。今度はあなたが幹事として。

こうして、「幹事最優先」というルールのもと、
皆が協力しあって合コンの輪を連鎖させてゆく。

これがオートマティック合コンです。

先ほど、水を例に説明しましたが、より理解を深めて
もらうため、「資産」について学びます。

資産……、株とか不動産とか、そういうやつです。

本筋の定義ではないかもしれませんが、
僕は「資産」とは

- 自動的に、お金を生み出してくれるもの

だと考えています。

お金っていうのは、1回使えばなくなります。

でも資産というのは、例えば、あなたがアパート
を持っていて、そいつを運営していれば、毎月、
自動的に家賃として「お金」を産み続けてくれ
ますよね。

この、「自動的に」「産み続ける」というのが
資産であって、人生を面白おかしく過ごすには、
いかにして資産を構築するか、が重要だと思います。

そして、お金を生み出す資産が「株」や「不動産」
だとしたら、

「女」を生み出す資産は何か？

- 人脈

です。

オートマティック合コンとは、

いかにして、自動的に女性との出会いを生み出すための人脈を構築するか？

という考え方のもとに作られたシステムなんです。

それを踏まえたうえで、あなたがやるべきことを順番に整理すると、

ステップ1：

とにかく、まず1回、合コンを開く

ステップ2：

合コンに来た女性に、別メンバーで次の合コンをお願いする

ステップ3：

ひたすらステップ2を繰り返す。

ここで、いくつか疑問が出ると思うんで、解決しておきます。

疑問1：

どうやって最初の1回の合コンを開くのか

これは人によるかと思いますが、まずは友人に片っぱしからお願いしてみる、というのが王道ですね。

ただ、それが難しい場合、

- 婚活パーティー
- 異業種交流会
- 社会人サークル

あたりに参加してみるのがお勧めです。

基本的に、出会いを求めている女性が
集まっているので、非常に話が早いです。

疑問2：

ひたすらステップ2を繰り返すには
男友達の数が必要なのは

実は、このオートマチック合コンで一番
要となるのは、「男メンバー」です。

実際に、

- 婚活パーティー
- 異業種交流会
- 社会人サークル

に参加してみたり、合コンで知り合った女性
に別メンバーでの合コンをお願いしてみると
分かるんですが、本当のところ、

・女の子を集めるというのは、凄く簡単

なんです。

むしろ、息が合う、また、オートマティック合コンの理論を理解し、賛同してくれる男メンバーを集めるほうが大変です。

さらに、合コンで出会った女性に、別メンバーで次の合コンを頼む、ということを繰り返すには、こちらにも相応の仲間数が必要。

女性メンバーだけチェンジで、男は固定じゃあ、女幹事に申し訳ないですし、印象も最悪ですよ。

というわけで、

- ・システムを理解し、賛同してくれ
- ・息と波長が合う

仲間を6人～8人くらいは集めたいところ。

これは、気の合う男友達に紹介してもらおうというのがベストです。

「気の合う友達」の「友達」なんで、気が合い易い。システムについても話やすい。

そうやって、男同士の紹介により、仲間を増やします。

疑問3：

ひたすらステップ2を繰り返すだけで
いつ自分は美味しい思いができるのか。

さて、ここがオートマティック合コンの
完成度に関わる部分です。

ひたすらステップ2を繰り返す、とは
ひたすら、合コンから合コンへつなげ
続ける。

という意味です。


じゃあ、いつになったら「幹事特権」を
利用して、好きに口説けばいいんだ。

と。

答えは、
「口説きたくなったら口説けばよい」

なのですが、それでも最初のうちは、誰か
特定の女性を狙うよりも、ひたすら女性に
別メンバーでの合コンをお願いして、ただ
ただ開催し続けた方が良いです。

これは投資だと考えてください。

お金はある  幹事特権で自由に口説ける

でも、お金をあえて使わず、そのお金を株に投資する**＝**女性を口説かず、次の合コンにつなげる。

です。

そうやって、ひたすら合コンを繰り返すことで、

資産**＝**波長の合う、システムを理解した男メンバーを増やすんです。

そうやって、良質な資産**＝**良質な仲間が増えると、こんどは同じようにして自分がバンバン、合コンに誘われます。

寝てても合コンの誘いが止まなくなる。

つまり、オートマティック合コンの完成です。

これは本当に、お金を株や不動産に投資するのと同じで、とにかくひたすら投資すればするほど、良質な仲間から、良質な合コンに、自動的に誘われるようになります。

お金とは、使うものでなく、株や不動産に投資するもの。
イコール
女とは、口説くものでなく、男仲間に投資するもの。

そういう理論ですね。

ほんとに、寝てても出会いの方から転がってきます。

まあ別に、自分で合コンを開催したうえで、
幹事特権を利用して一人を口説き、さらに
別の女性に、次の合コンをお願いする。

という手も無しではないんですが。

女性同士ってのはけっこう密に連絡を取り合っ
ているんで、かなりの確率でバレます。

バレるとどうなるか。

まさに今、口説いているその女性から

「え、私をデートに誘ったのに、〇〇ちゃんと
合コンするの?? ちょっと…ね……」

ってなりますね。普通は。

さて、オートマティック合コンの考え方を理解してもらったうえで、じゃあ、実際の合コンでの注意点とは何か。

合コンの鉄則として、次の2点が挙げられます。

1、男女交互に座る

2、個室を利用する

両方とも、おそらくあなたが考えている以上に重要なので、ここでしっかりと、その意味を理解してもらいます。

その1：男女交互に座る

人によっては当たり前すぎるくらい当たり前と思われるかもしれませんが、案外出来ていません。

知ってて出来ない人は、

- ・男女交互に座る

ということの効果を甘くみています。

「そんなの知ってますよ。相沢さん。
でも、初対面の男女がいきなり交互
に座るなんて、無理です」

「張り切っていると思われたら恥ずかしい
じゃないですか」

という男もいます。

さて、そこで。

そもそもなぜ、合コンでは男女交互に
座らなければならないのか。

その理由からお話しますと。

まず大前提として覚えておいて
欲しいのは、

- ・人は自分の隣に座った人とがいちばん話やすい

ということです。

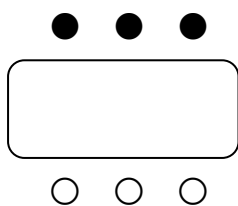
正面に向かい合うよりも、隣同士
が一番話やすいです。

そこで↓の図を見てください。

男=●

女=○

パターン1：男女交互にしない場合



さて、初対面の男性に対して女性は
ちょっと緊張しています。

女「どうしよう...何話せばいいか
分からないし。きまずいなあ」

合コンで出会った男性に対して
興味はあるが、人見知りの部分が
じゃまをして、ちょっと逃げ腰。

まあ、一番よくある合コンでの
女性心理。

そんな時、女性はどうか？

逃げます。楽な方へ。

つまり、距離も近い、すぐ隣の女友達と、
いつものくだらない、身内にしか分から
ない話とかし始めます。

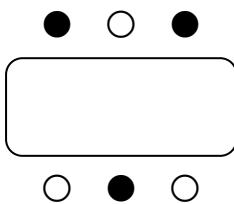
もちろん、そんな彼女達にしか分からない
話に対して男達もついていけるわけもなく。

そうこうしている内に、隣同士、女性同士
のみで勝手に会話が盛り上がり。

それに比例して男性陣のテンション
は下がり続け...

合コン負けパターンの出来あがりです。

パターン2：男女交互にした場合



女「どうしよう...何話せばいいか
分からないし。きまずいなあ」

までは一緒。

そして上の図をよく見て欲しいんですが、

・女性の逃げ場

が無いの、分かりますでしょうか。

隣も男。前も男。

すると

「隣の楽な女友達に逃げる」

という選択肢が無いため、女性も意を決して男性とコミュニケーションしていかなくなります。

よって、

- 1、女友達に逃げる
- 2、内輪話で盛り上がる
- 3、男のテンションが下がる
- 4、「これ何の会(; _ _)...

という、合コンでは最もありがちな負けパターンを回避できます。

それと重要なことをもう1つ。

さきほど、合コンでいきなり男女
交互に座れない理由として

- いきなりだと恥ずかしい
- 張り切っている感が出そうで嫌

というのを挙げました。

これ、実は女性だって一緒なんです。

本当は新しい出会いに期待している。

せっかくの合コンだし楽しみたい。

でも、

- いきなりだと恥ずかしい
- 張り切っている感が出そうで嫌

この点はほとんどの場合、男とまったく同じ。

こういう時こそ、男がリードすべき瞬間です。

女性だって本当は...

でも恥ずかしいしプライドが...

合コンに限りません。

ここでリードできないヤツを

- 男らしくない
- 頼りない

と言います。

プライドや恥ずかしさの部分こそ
あなたが先にそのリスクを取り、
引っ張ってあげてください。

その2：個室を利用する

これも何度も口をすっぱくして言っても、
ちっともやらない人がいるんで本当に
不思議なんです。

合コンにおいて個室を選ぶというのは、
もう絶対条件です。

個室を選ぶのと選ばないのとでは、
合コンにおける男女の

- 一体感
- 親密度の上がり方

がまるで違います。

なぜか？

まず第一に、6人なら6人。8人なら8人の、そこに集まった男女だけの世界。

その瞬間、世界にはその6人なり8人しかいない。

そういう状態が作れるからです。

その他の一切、余計なものが入りません。

親も兄弟も、上司も部下も。
同僚も友達も同級生も。

そしてそこには街の騒がしさ
や騒々しい他人。

テレビ、パソコン、広告。

そういった余計な情報が一切ない世界。

そんな世界にたった6人なり8人の男女の村。

あとは美味しい料理とお酒があるだけ。

これで男女交互で会話をして、
親密にならないわけがありません。

ここまで読んでもらって、気づいた人もいるかもしれませんが、

「個室」

というのは

「完全個室」

でなければ意味がありません。

お店によっては、結構

「個室」といいながら実は「半個室」

つまり薄いひらひらで仕切りをつけただけ。

みたいな所が多いんです。

「半個室」だとせっかく、場の空気が良い方向に動きだし、全員が一体感を持ち始めた瞬間、

「ガハハハハっ！」

とかいうデリカシーの無いオッサンや下品なガキの笑い声が聞こえ。

急に場が白けたりします。

要するに「個室」にする最大の意味とは、

「外界の情報を、一切遮断する」

ということにつきます。

他のお客さんの声がうるさくて
こちらが会話に集中できないよう
ではダメなんです。

だからもし、そのお店に一度も行った
ことがないならば、「個室」と書いて
あってもお店の人にちゃんと確認して
ください。

「完全個室ですよね？」
って。

「完全個室」で合コンとかいうと、
すぐにエロい何かを想像する人
いますが（笑）

全然そういうんじゃないくて。

いかにして外界の余計な情報をカット
して、女性をその場の空気にくぎ付け
にするか。

が目的です。

以上、

- 男女交互に座ること
- 完全個室を選ぶこと

鉄則というより、これは「憲法」です。

そしてこの2点について「憲法違反」をしなければ、あとはどうでもいい、とも僕は考えます。

よく、「合コン戦略」と称して

- 攻め
とか
- 守り
とか
- ○○係

みたいなことを言ったり、

- 隠語を使って各自の好みを知らせ合ったり
- かならず各自が女性と1対1で話したり

ホントに、戦略とか言いだすとキリがありませんし、こういった戦略は本でもネットでも恋愛マニュアルでも、

いくらでも書いてあるんですが。

で、僕自身そうとうアレコレと試してもみましたが。

はっきり言って「机上の空論」ですね。

こういう、戦略めいた話をする事自体を楽しんでいるだけ

とか、

それっぽく書かなきゃ、商品にならない

とか、

書いてる本人に、実は実戦経験がほとんどない、とか、

まあ理由は色々ですが、いずれにせよ

- 男女交互に座る
- 個室を利用する

の2点以外は「机上の空論」であり、現場ではたいした意味を持ちません。

他人が8人も集まるんです。

軍隊と違い、みんな自由意思を持って行動もします。

- 男女交互に座る

- 個室を利用する

のような状況設定的な戦略以外は
結局はケース・バイ・ケース。

あとは柔軟に。

です。

では次に、「男女交互」や「完全個室」といった
状況設定ではなく、

合コンの現場でどのような点に注意して会話を進め、
どのように女性とデートの約束を取り付けるのか。

そういった観点から合コンを見てみます。

これには、僕が実際に参加した合コンでの
体験を載せるのが一番分かりやすいと思い、
書きます。

ある日の合コンの風景。

男4人：女4人

男メンバーは、いつも僕を合コンに
誘ってくれるSさん以外は初対面。

たまたま僕の隣にHってコが座り、
そのさらに隣にその日初めて会った
男のKさん。

僕 H Kさん

が横並びに座る感じですよ。

合コン中、Kさんは何度かHに対して仕掛けていたんですが、上手くいかず、結局Hは僕に食いついてました。

Kさんはそれを感じとったようで、合コンが終わった後、

「どうやってHを食いつかせたんですか？ 教えてください」

というメールを僕に送ってきたわけです。

そこで今回は、Kさんのミスポイントを解説することによって、反面教師としてもらいます。

この時、Kさんは3つのポイントでズれていました。

1つめ。

みんなで1つの話題を共有している時にHに口説きを仕掛けた。

2つめ。

既に感情の話をする段階で、いつまでも知識の話をしていた。

3つめ。

正しさにこだわってしまった。

です。

では1つめから。

みんなで1つの話題を共有している時に
Hに仕掛けた。

けっこう、これをやる人、見かけます。

例えば8人みんなで
「ペルーに旅行に行った話」

で盛り上がっていたとしますね。

こういう時、隣の女性と2人きりで
別の話をしようとしないう方がいいです。

可能性の1として

- その女性も実は「ペルー旅行の話」に興味があって聞いていたのに、横から邪魔された、と感じる

そして可能性2

- みんなで話してる時に、他の男と2人

きりで話すって何！？ と、女友達から
思われないか心配する

可能性3

- ・特に、「ペルー旅行の話」の中心にいる
人物が女仲間の中でリーダー的存在で
あった場合。

そのリーダーから「私の話を聞かないで
そうやって抜け駆けするんだ。ふ〜ん」

と思われるのを恐れる

と、要するに、女友達の目が気になって
非常に居心地の悪い思いをしてしまい、

「なんて空気の読めない男なの」

と思われる可能性が高いです。

女同士の関係はけっこう複雑な力関係の
バランスです。

もちろん例外もありますが、特に女性側が
全員仕事仲間であったり、関係性が濃い友人
同士であった場合、配慮が必要です。

1対1に持ち込むとすれば、話の切れ目、
場の空気がひと段落した瞬間を狙って

ください。

次、2つめ。

既に感情の話をする段階で、いつまでも知識の話をしていた。

これも、わりと多くの男性が犯しやすいミスです。

合コンの初期段階、Kさんの「うんちく」が炸裂して、かなり場が盛り上がりました。

これは非常によいと思います。

特に、まだみんなが出会ったばかりの状態
で、何を話してよいか分からないとき、
面白い知識があり、それに興味を持つ人
がいれば。

打ち解ける武器としては非常に素晴らしい。

ところが、こういう「知識」的な話題という
のはどこかで「感情」の話題に切り替えな
ければならない。

面白い「知識」は、打ち解けるための初期段階
で終わらせ、スキあらば「感情」の話に切り
変える。

「感情」の話とは、具体的にいうと、

・その女性が最も感情的に盛り上がる話題

です。

ちなみに、僕がHに見つけた「感情」の入り口はコーラでした。

その飲み会で、Hが続けて2杯、コーラを注文してたのに気が付いたんです。

ちょっと、違和感を感じませんか。

合コンで、みんながアルコールを頼んでるなか、ひとり連続でコーラ。

ウーロン茶なら、ああ、飲めないコなんだと思いますが、コーラは少し違和感を感じます。

で、僕は
「もしかして、かなりのコーラ好き？」

H
「うん」

僕
「でもたぶん、オレの方が好きだぜ(笑)」

H
「え、負けないよ(笑)」

みたいな流れで話してたんです。

男から見ると、かなりどうでもいいって
いうか(笑)

でも、すごく「感情」的な話ですよ。

一方、これに参加したKさんは、ここでも
知識の話で攻めてしまった。

Kさん

「コカ・コーラのコカってコカインの
コカだから」

これに対して僕が

「え？ そうなんだ、知らなかった！」

って驚いたとき、Kさんは

「え、マジで、そんなことも知らないの!？」

みたいなニュアンスで話してしまいます。

この時、Kさんの視点は、

「知っているか」「知らないか」

という知識面にあった。

で、その時、Hは完全に体を僕に寄せて、
姿勢も僕と同じ向きになり、

「え～、私もこっち。へ～！」

ってなりました。

この瞬間も、僕とHは感情を共有して
ますよね。

そもそも本当は、
「コーラって依存症になるくらい美味しいよね」

っていう、感情の共有作業だったんです。

「コカ」が「コカイン」の「コカ」である
ことは、知識としては面白いが、感情の
共有には一段、劣る。

常に注目すべきは、その女性の感情がどの
ポイントで揺れるか、です。

3つめ。

正しさにこだわってしまった。

もしかすると、このミスこそが最も多くの
男が犯すものかもしれません。

あの時、マッサージの話がでました。

で、僕は
「マッサージ、よくするよ～。リンパ
マッサージとか、マジ上手いから」

って言ったとき、Hは
「え〜、すごい。ぜひ私にしてください！」

って僕に言いました。

ところが、ここでKさんは
「リンパは人によって違うから、リンパ
マッサージなんてホントはウソなんだ」

というようなことを、かなり興奮した様子
で熱弁しました。

関係ないんですよ。本当は。

面白ければ、それでいい。
気持ちよければ、それでいいんです。

アッって分かりやすく例えると、血液型占い
の話で盛り上がってる時に、

「人間を血液型なんかで4種類に分類できる
論理的根拠なんて無い！」

って熱弁したのと、本質的に同じなんです。

関係ないんです。
正しいとか、正しくないとか。

その女性が面白いと思っているのかいないのか。

その女性が気持ち良いのかどうか。

見るべきはそっちなんです。

結局のところ、合コンでの会話進行のポイントとは、

- 女性同士の間関係にも気を配りながら
- いかにして、ターゲットの女性の感情に切り込むのか

です。

最後に、どうやって合コンから1対1の
デートに誘いだすのか。

そのためのテクニックを書きます。

合コンから1対1のデートに誘いだす
テクニックは、実はたったの1つだけ。

僕はもう、ひたすらこれしかやりません。

他の方法なんて全く必要ない。

本当に、バカみたいに、これだけで十分。

僕はこれを、

・10分間の恋愛空間

と、今、名付けます(笑)

これを簡潔にいうと、

- ・合コン中、短時間であっても濃密な感情
の共有を行ない、こちらへの期待値を
高め、1対1のデートへの確率を激増
させる

って感じですよ。

合コンの目的は「出会い」だと思います。

「そんなの当たり前でしょ。相沢さん」

と言われそうですが、案外このポイントがズれている人がいます。

合コンの目的は、

- ・楽しさ
- でも
- ・セックス

でもなく、

- ・出会い

なんです。

もちろん、楽しさやセックスを目的にする合コンを否定はしません。

正確に言えば、僕だって、毎回、
出会いだけを目的にはしませんし、

実際には

- ・出会い
- ・楽しさ
- ・セックス

等のラインも曖昧です。

でも、とりあえず今回は、意識のあり方として、合コンの目的を「出会い」にしぼってみてください。

合コンで出会ったその日に、見ず知らずの女の子をお持ち帰りしてみたい...

気持ちはよ〜く、分かります。

でも、合コンにくるコって、ほとんどの場合、すごく、すごく普通です。

そんなハッチャケたコや、ハッチャケたがってるコが来ることの方が少ないです。

よって、ゲームとイッキで煽って飲ませてホテルに連れ込むなんて、そうそう出来ません。

20歳前後の若いコだと、できる確率がぐっと上がりますが...

それよりも、本当に普通の感性を持った、とても常識的でまじめなコが集まって、ちょっと楽しい食事会、

的なノリの方が普通です。

そういうコに対して無理にゲームやイッキを仕掛けると、けっこう引かれます。

飲ませてホテルに連れ込もう、という意図って見え見えですから。

本当にね、普通なんですよ。
合コン、って。

よって、はじめからセックスを目的に進行すると、失敗する確率がグッと上がります。

さらに、「楽しさ」も危ないです。

たとえば、合コンの2次回あたりからゲームでガンガン盛り上がり、酒もイイ感じに飲みまくって。

「いやっほ〜♪ 今日最高だぜー！！」

「このまま3次回、カラオケでオール、
いっちゃいますか〜？ イェー！！！」

みたいなノリで、
(それが出来た年齢が、自分にもありました...(^_^))

本当に楽しくて楽しくて仕方ない、
脳みそがトロけるかってくらい
楽しいんですが....。

翌日、

「楽しかったけど...で、...あれは何だ
ったんだろう.....」

女の子も、だいたいそれで満足してしまって、

「ああ、楽しかった☆」

で、お終い。

結局だれも、誰とも、どうともなっ
ていないという。。。

まあ、要するに、楽しいだけでも実は
微妙なんですよ。

合コンってやつは。

そこで重要になってくるのが、

「合コンは出会いである！」

という考え方です。

そして、改めて合コンの目的を

- ・女性との出会い

と定義しなおしたとき。

結局のところ、

合コンが終わったのち、そこで出会った女性とデートができるのか？

これにつきます。

そしてその目的のためだけに行なうのが

・10分間の恋愛空間

です。

たとえば合コンが全部で4時間だったとしますよね。

その場合、ほんの10分間でいいんです。

目当ての女性と、ちょっとだけ特別な、2人きりで恋人っぽい、あるいは、他と抜きんでて親密っぽい時間。

これを作り出します。

合コンを通してずっと皆で楽しくお話していたとしても。

たとえば、告白ゲームで、2人きりになってマジで告白する、させる、

とか。

話の切れ目に、その女性の感情ポイントに切り込んで、ほんの数秒、意味ありげに熱く見つめる。

とか。

2人にしか分からない共通の話題で、
2人だけで盛り上がり、周りに
「あ、ゴメン（笑）」

と言って、自分達にも、周りにも、特別さを意識させるとか。

合コン中、しっかりと全員に気を配り、
場を盛り上げた後、十分に自分のブランド
が上がったことを確かめたうえで、2人
きりになったタイミングを狙って

「ね、こんどデートしてよ♪ オレって
けっこういい男だぜ（笑）」

って仕掛ける、とか。

やり方はいくらでもあるんですが、ほんの
一時、2人だけの間に特別な空気を作り
だしてください。

そうですね...

狙っている女性の感情ポイントを把握する
という意味でも、また、ピークエンドの法則
から考えても、

- 合コン終わり間際

が一番やりやすく、また有効です。

もちろん、仮に合コンが3時間であったとして、残りの30分とか、1時間とかをずっと2人きりでお話しても、それはそれでオッケーです。

この方が良い場合も多々ある。
特に「信頼」は得られます。

「10分間の」といいましたが、その辺は柔軟にやってください。

ただ、経験上、

- 女性が他の女友達の目を気にする、

とか、

- 男性側個々のトーク力

とか、そういう様々な要素をトータルで考えた場合、合コンの終わりの方で

10分から15分、さらりと恋愛空間を作ったらあとはこだわらない。

というのが、最も皆が楽しめて、しかもちゃんとデートへも引っ張り出せる確率が高い。

と、感じています。

終わりに

実は、合コンについてまとめた文章を
いつか書きたい、とずっと思っていました。

僕は合コンが大好きです。

メルマガを書き始めてもう随分たちますが、
仲間からはよく、

「相沢君、どうして合コンについて書かないの？」
と言われ、

恋愛教材を書くたびに、

「え？ っていうか、何で合コンの教材じゃないの？」
と言われ続けました。

書かなかったことに、特別な理由があったわけ
じゃないんですが、なんとなく、今になって
しまい、それでもやっとこうして発表できます。

すごく嬉しいです。

合コンってのは、社会の縮図だと思います。

男女合わせてたったの6人、または8人くらい
な集まりですが、若い男女が集まって、みんな
それぞれに出会いを求め、主張しあう。

そこには悲喜こもごものドラマが生まれます。

男同士の友情が生まれ、嫉妬がぶつかり、議論し、認め合い、貶しあい、皆が成長し、大人であることを学びます。

人脈が広がり、コミュニケーション能力が抜群に上がり、また、ちょっとした政治力や統率力すら身に付きます。

女性にも慣れ、複数の中での自己アピールも学び、気が付くと個人の深い部分にまで切り込んでいて。

男女を超えた、「人間」という動物の、奥の深さとか、哀しさとか、喜びとか、そういった繊細な心の襞（ひだ）にまで触れてゆきます。

そういった、濃密な社会の縮図のなかで体験する、人と人との交わるドラマの一時。

これが大好きで、合コンが止められません。

今回ご紹介した、オートマティック合コンは、システムであり、資産でもあるので、築き上げるまでにそれなりの時間とエネルギーを費やします。

でも、1度、必死になって作り上げてみてください。

女性との出会いや、口説きの力にとどまらない、
すばらしい人生の、数々の出会いがあなたを
待っていますから。

また、お会いしましょう！

ありがとうございます。

相沢蓮也